

令和5年度 M I E職員カアワード 部門賞受賞取組概要

募集部門	部局名	活動テーマ	グループ名	取組概要（応募用紙より抜粋）
仕事の進め方改革部門	医療保健部	RPAによる宿泊療養施設の患者データ転記作業の自動化	宿泊・自宅療養PT RPAグループ	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが令和5年5月に変更になったことに伴い、宿泊療養施設の療養者の健康観察で利用していた外部システムを契約終了することとなり、4862名分のデータを取り出す必要が生じました。システムは仕様上データ一括ダウンロード機能がなく、WEBブラウザから一つずつcsvファイルをダウンロードしてExcelファイルに保存するというデータ転記作業を、RPA(WinActor)により自動化しました。通信遅延などで途中終了することも想定し、冗長性のあるシステムを構築しました。手作業では400時間以上を要する作業を、自動化により勤務時間外の夜間や休日でも作業を行ったことで、2週間で転記ミスなく完了できました。
Slack活用部門	医療保健部	ワークフローでSlackコミュニケーションをもっと便利に！	健康対策班	Slackで電話メモを作成・送信するためのワークフローを作成しました。 電話を受けた職員は、ワークフローに沿って「電話を受けた日時」「誰あての電話だったか」「誰からの電話だったか」「折返しなど対応が必要か」「折り返し場合の電話番号は」「要件や伝言の内容は」といった項目に入力し、「Submit」ボタンを押すだけで、入力内容等を考えることなく電話メモを作成、送信ができます。 また、受け取る側は「電話メモ」というAppからのメッセージとして受領するので、送信者が誰でもあっても電話メモは一か所に集約され、一元管理が可能となり、見落としや対応漏れのリスクが低減します。
職員セレクト賞	サービス向上部門	市町と一緒に作ろう・守ろう＊安全・安心な道路空間＊	市町の道路サポート班	県民の暮らしを支える道路。その道路の約8割は市町管理ですが、実は土木技術者がいない・ほとんどいない市町が半数を占めています。 そこで、県民に身近な生活道路＝市町管理道路の安全・安心の継続確保には、県から市町への積極的な支援や市町同士の連携強化が必要と考え、市町の不安軽減や技術力向上に向けた支援策20個を企画・実行しました。 例えば、業務の疑問を直接聞く「出前相談会」や市町主体の「現場お披露目会」開催、全市町の動向を見える化した「事例集」発行等々。 その結果、誰にでも気軽に相談できる関係性が生まれ、アンケートでも「県の多様な支援に感謝」、「県の熱い思いが波及効果を生んだ」との声をいただきました。
職員力向上部門	総務部	職員発★全職員向けD2ラジオを聞いてみんなでスキルアップ！	D2ラジオ放送局	研修やe-learningで学ぶほどの内容じゃないけれど、職場の人に簡単なパソコン操作や、ツールの使い方等、業務のちょっとしたヒントを教えてもらって作業が楽になった経験はありませんか？その積み重ねで、業務スピードは格段に上がります！ Web会議システムを使ったD2ラジオでは、職員のスキルアップに向け、すぐに役立つかもしれない、ちょっとした業務のヒントを、隔週で紹介しています。ご多忙な皆さんでも楽しく聞き流せるように、行政の枠に囚われない、ちょびっとエンタメ感もある耳だけのラジオ放送を、各回短時間(5-10分)でお届け中！ ラジオを聞いた方からは、業務に役立った等、反響を多数いただいております。
自由テーマ部門	県土整備部	《小学生向け橋の研究会》小学生からスタート！未来の建設業の担い手確保！	夏休み橋の研究会	夏休みだ！！小学生向け橋の研究会！！ 社会資本整備を担う建設業界では担い手不足が深刻な問題となっています。 様々なことに興味や関心を持っている小学生を対象に、建設業志望者のすそ野を少しでも広げることを目的とし、「小学生向け夏休み橋の研究会」を実施しました。 実施にあたっては、「思い出に残る！」「興味を持って得意分野にしよう！」「橋や道路を身近に感じてもらう！」ということに主眼を置き、リアルな橋梁模型作成や、構造物実験などを研究会の内容としました。 その結果、出来上がった橋梁模型を誇らしげに見つめる児童の顔や、保護者からは建設業界への就職方法に関する質問が挙がるなど、成果が見えました。